

# 同志社中学校での交流



## 一生に一度の体験

能渡 真美

九月二十七日、各停留所で全員がバスに乗り、青森空港に行きました。青森空港から大阪にある伊丹空港に向かってる最中、目的地の京都には徐々に近づいているのに自分自身まったく実感が湧いていませんでした。ようやく実感が湧いたのは伊丹空港に着いてからでした。京都に着いてから最初に向かったのは金閣寺でした。金閣寺が金色だというのは知っていたけど、生で見て本当に感動しました。次に向かったのは大徳寺大仙院でした。大徳寺では座禅を体験することが出来ました。いつもは副住職さんがしているけれど、その時は住職さんがやってくれました。その後は二日間お世話になるホテル東山閣に行きました。とても大きく綺麗でビックリしました。二日目の最初に行ったのは清水寺でした。清水寺では清水の舞台を見ることが出来て嬉しかったです。でも、それより嬉しかったのは水を飲めた事です。私の兄の時は人が多くて飲めなかつ

たと言っていたので不安でしたが、飲むことが出来て良かったです。清水寺の後は同志社大学に向かいました。大学の敷地の中は一つの町のようによく歩いて歩いたりしたら迷うだろうなあと思いました。一つ一つの建物が大きく、その中でも図書館には今まで見たことのない数の本が並んでいました。その後は一度ホテルに戻り、夕食を食べ終わるとギオンコーナーに向かいました。その時初めて舞妓さんを見ました。他にも狂言などもやっていて、五十分くらいでしたが短く感じました。最後の日はホテルに別れを告げて同志社中学校に向かいました。行く前は一番不安なところが同志社中学校でした。でも、同志社中学校の人は優しく接してくれ、ダンスを教えてください、校内を案内してくれました。ミニ交流会も開いてくれて色々な話ができて楽しい時間でした。夕食をした後、そのまま京都駅に行き寝台特急の日本海三号に乗りました。寝台に乗るのは初めてだったので少し緊張しましたが、夜は疲れていつの間にか寝ていました。朝は起きてから皆とはなしたり、他の人の所に行ったりして長い時間を楽しんでいるうちに青森駅に着い



てしまいました。途中、道の駅「よこはま」で解団式をした時、そこで青森に帰ってきたんだと思いました。今回京都に行き沢山の友達と交流して、行かなければ体験できなかったことばかりだったと思います。京都の人は皆明るく優しい人ばかりでした。私達も明るく優しい人になればいいなあと思いました。そして、自分で考えて行動できるようになっていきます。この交流を通してお世話になった方への感謝の気持ちを忘れないで生活していきたいと思えます。